

証券コード：7369



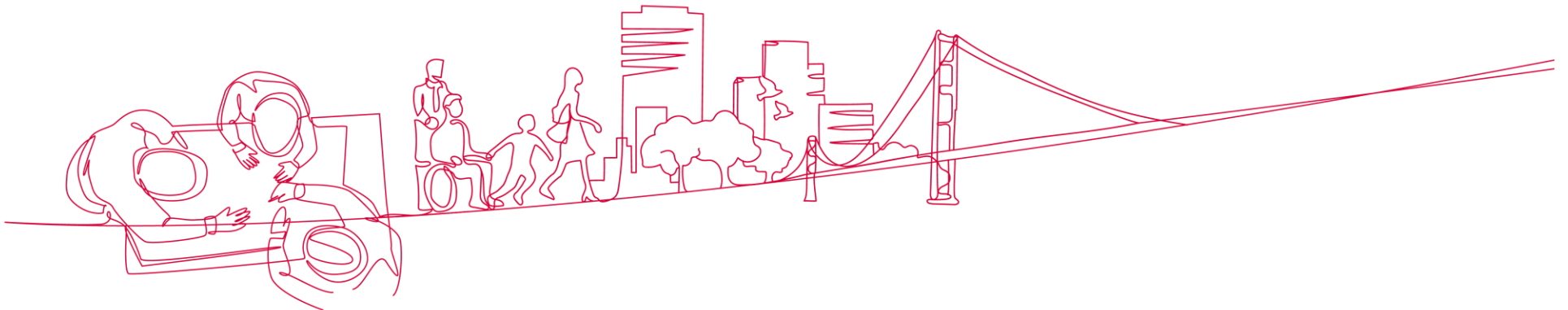
2026年6月期 第3四半期
決算説明資料

2026年5月15日（金）

株式会社メイホーホールディングス
代表取締役社長 尾松 豪紀

変わる勇気が、
未来を変える。

- 2026年6月期第3四半期業績
- 2026年6月期通期業績予想
- 成長戦略・トピックス
- Appendix



2026年6月期第3四半期業績の概要

建設事業の一時的影響により減収減益も、受注は堅調に推移

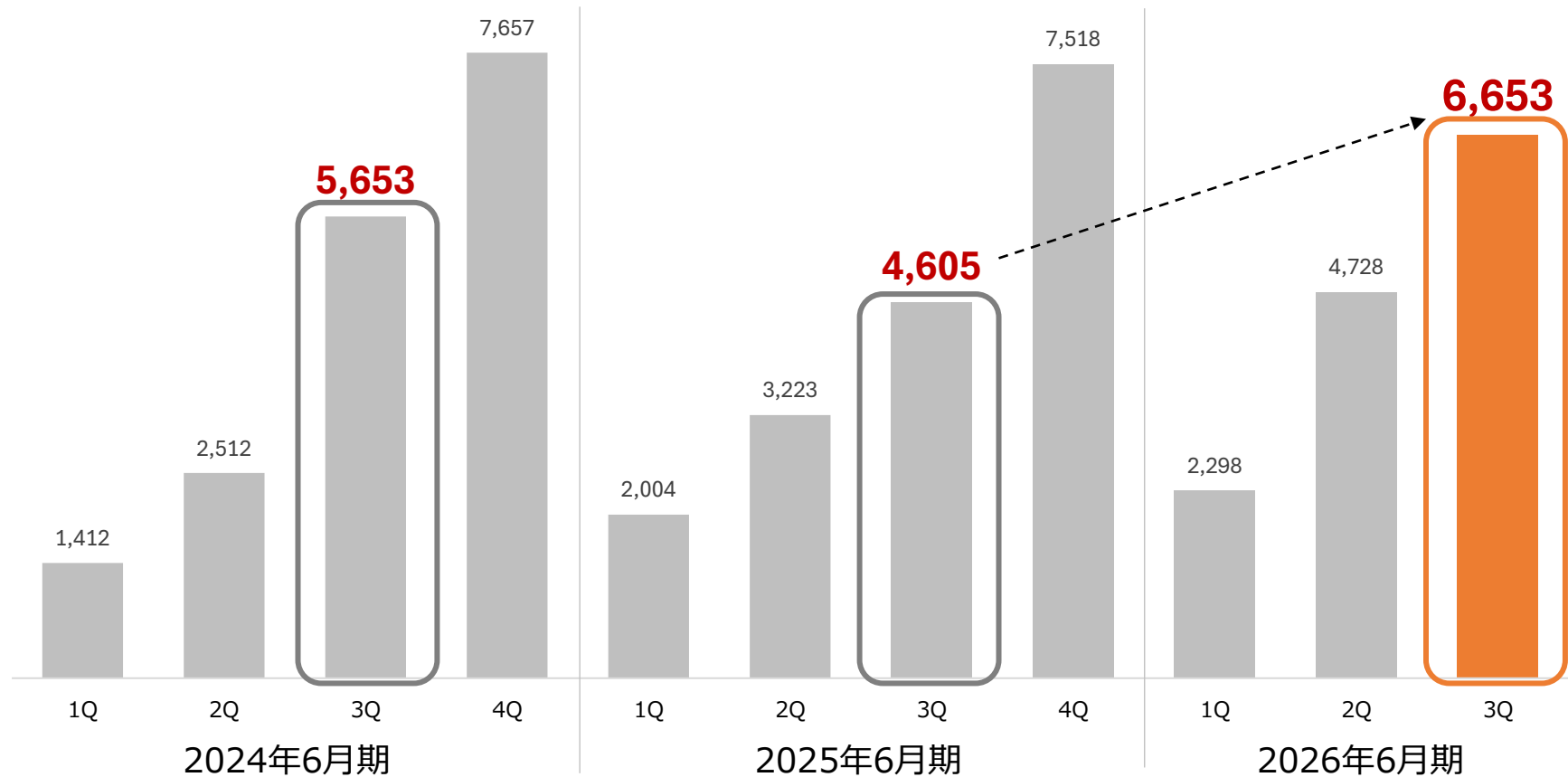
(百万円)

	2025/6期 3Q	2026/6期 3Q	増減額	増減率 (%)
売上高	10,151	9,923	△228	△2.2
営業利益	631	460	△171	△27.1
EBITDA	1,037	883	△154	△14.8

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

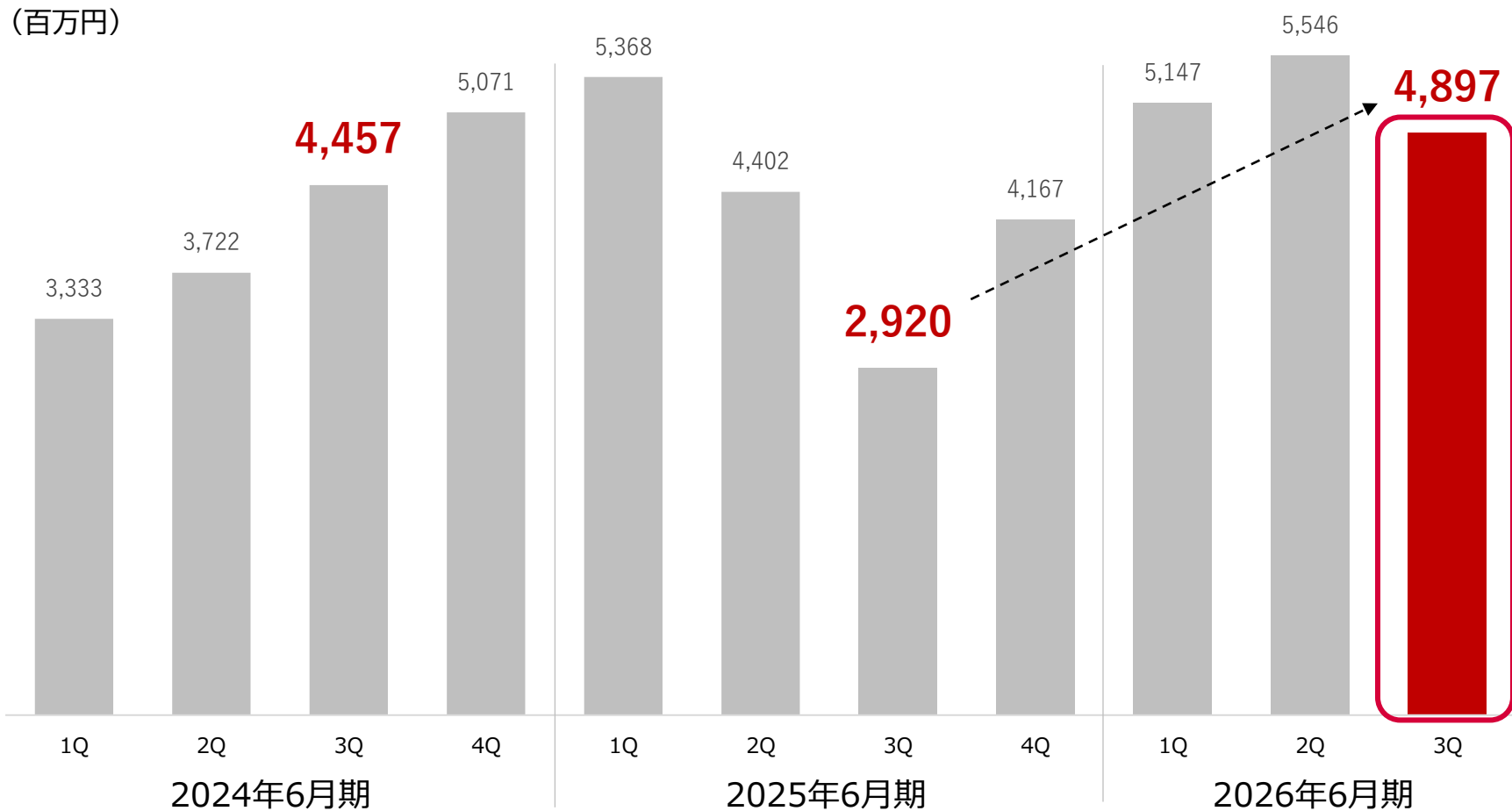
第3四半期の受注高(累計)は前年同期を上回り、受注は拡大

(百万円)



※受注高(累計)は、建設関連サービス事業、建設事業の合算

受注の増加に伴い、将来売上につながる受注残高も増加



※受注残高は、建設関連サービス事業、建設事業の合算

建設事業における工事進捗の制約等により減収減益となった一方、受注高・受注残高は高水準を維持し、将来業績に向けた基盤は拡大

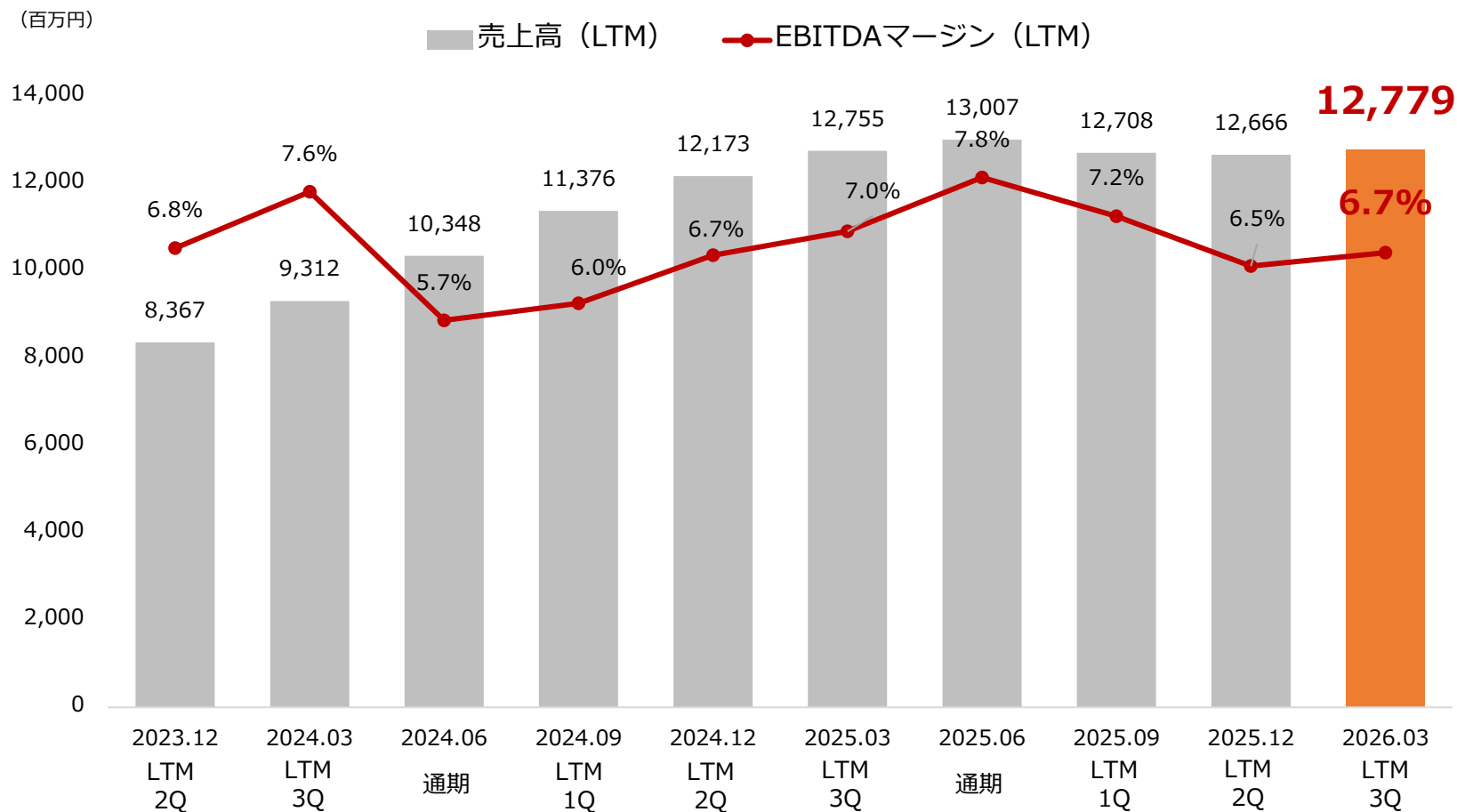
- ◆減益の主因は、建設事業における売上減少に伴う粗利減少

- ◆大阪・関西万博の影響による一部工事進捗の制約、前年同期の駆け込み需要の反動減が発生

- ◆受注状況は堅調に推移
 - 受注高：6,653百万円（前年同期比＋44.5%）
 - 受注残高：4,897百万円（前年同期比＋67.7%）
 - 受注残高は高水準を維持しており、将来業績に向けた基盤は拡大

直近12か月（LTM）の売上高と収益力の推移

一時的な影響を除けば、収益力は一定水準を維持



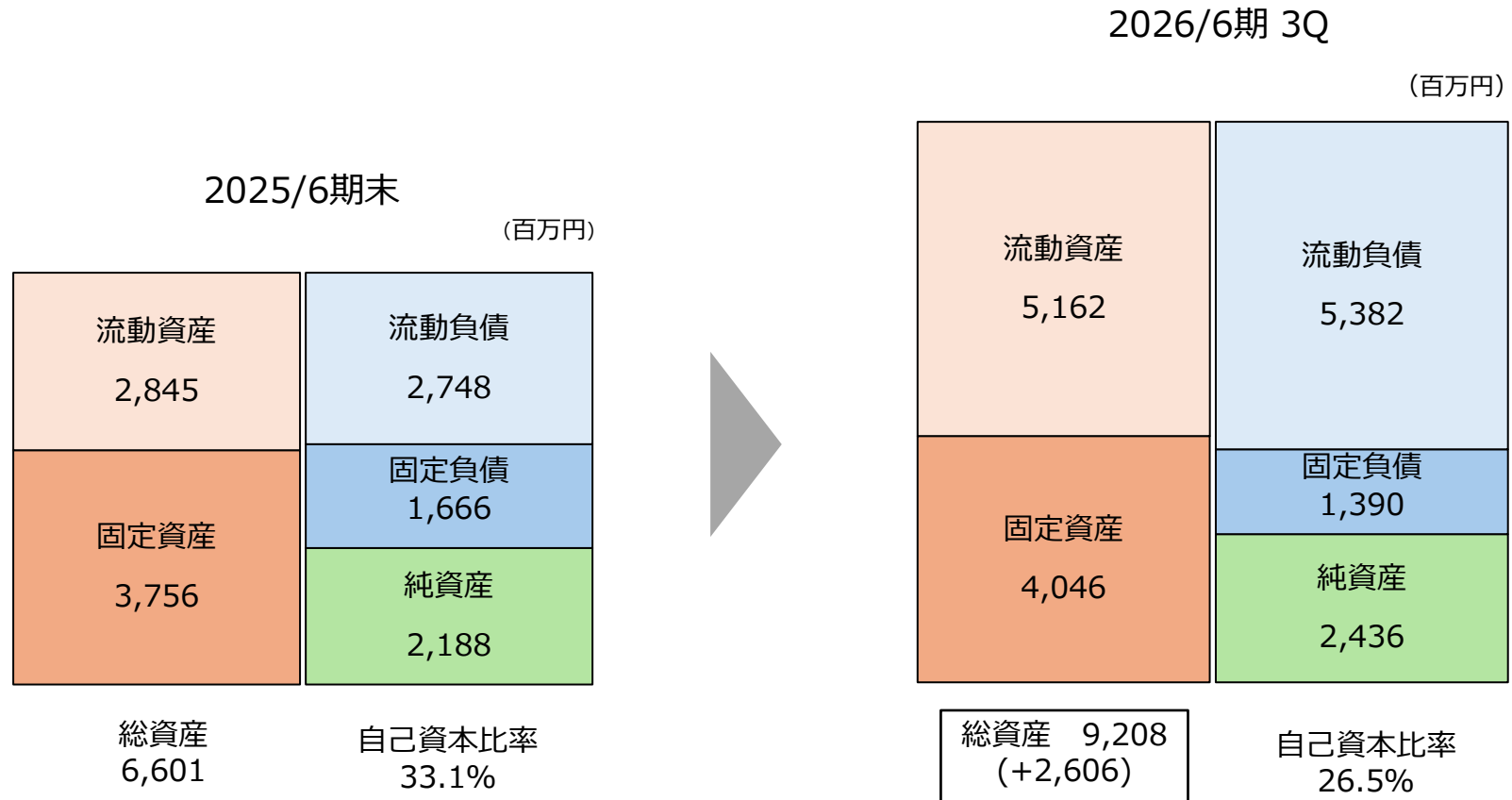
※ LTM：直近12か月で見た実績値（四半期のブレをならした数値）

EBITDA：本業の稼ぐ力を示す指標（EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額）

EBITDAマージン：売上高に対する稼ぐ力の割合

連結B/Sの変化（前期末→3Q）

流動資産・流動負債の増加を中心に、B/S規模が拡大



営業債権の増加に伴い短期借入金が増加、純資産は利益計上により増加

(百万円)

	2025/6期 期末	2026/6期 3Q	増減額
流動資産	2,845	5,162	2,317
(主な内訳)			
現金及び預金	754	338	△416
受取手形、電子記録債権及び売掛金	781	2,942	2,162
契約資産	996	1,398	402
原材料及び貯蔵品	33	35	2
固定資産	3,756	4,046	290
(主な内訳)			
有形固定資産	1,471	1,835	365
無形固定資産	2,035	1,896	△139
内、のれん	1,983	1,804	△178
投資その他資産	251	315	63
資産合計	6,601	9,208	2,606

※のれんは、単体計上分を含む

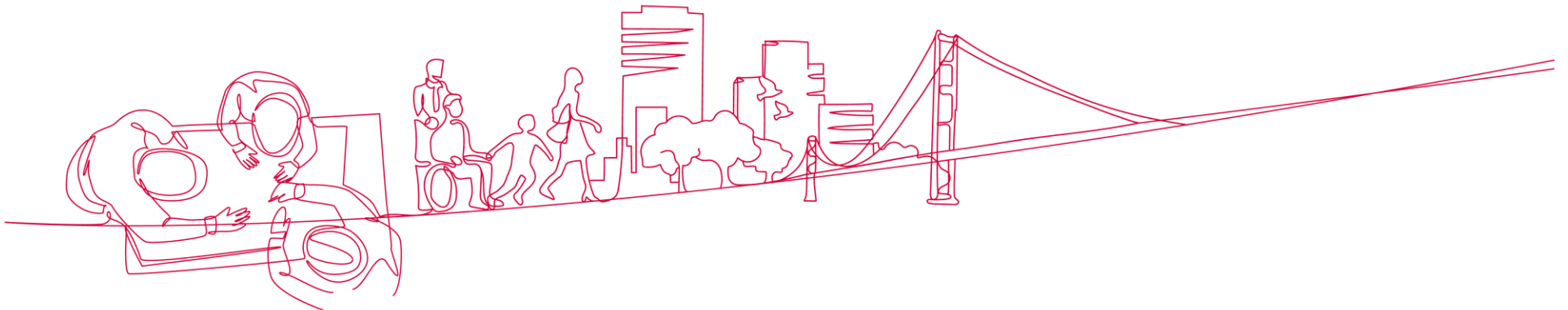
	2025/6期 期末	2026/6期 3Q	増減額
流動負債	2,748	5,382	2,634
(主な内訳)			
支払手形及び買掛金	756	1,033	276
短期借入金	0	2,387	2,387
1年内返済予定長期借入金	391	404	13
リース債務(流動)	11	11	0
固定負債	1,666	1,390	△277
(主な内訳)			
長期借入金	1,313	1,004	△309
リース債務(固定)	26	25	△1
負債合計	4,414	6,772	2,358
純資産	2,188	2,436	249
負債・純資産合計	6,601	9,208	2,606

ネットDEレシオ	0.45	1.43	0.98
自己資本比率	33.1%	26.5%	△6.7%

営業債権の増加に伴い運転資金需要が増加、純資産は利益計上により増加
営業債権の回収進展により、資金需要は緩和する見込み

- **総資産**は、主に流動資産の増加により前期末比**2,606百万円増**
→ 売上計上に伴い、売掛金や契約資産などの営業債権が増加
- **流動負債**は、短期借入金増加により**2,634百万円増**
→ 営業債権の増加に伴う運転資金需要に対応
- **固定負債**は、長期借入金の返済により**277百万円減**
→ 長期借入金は計画どおり返済が進行
- **純資産**は、四半期純利益の計上により**249百万円増**
→ 親会社株主に帰属する四半期純利益245百万円を計上

- 2026年6月期第3四半期業績
- **2026年6月期通期業績予想**
- 成長戦略・トピックス
- Appendix



現時点で通期業績予想に変更はありません

(百万円)

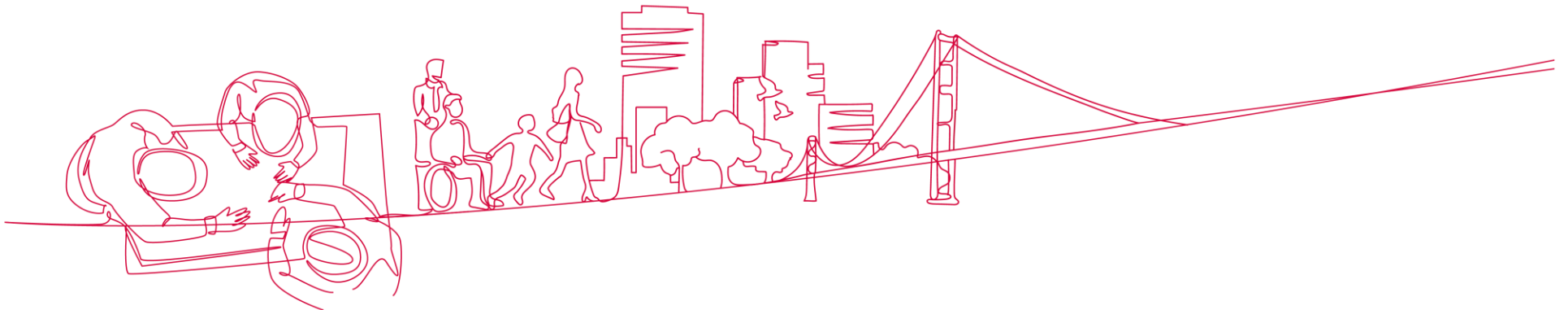
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2025/6期 (A)	13,007	472	444	168
2026/6期 (B)	13,500	540	530	200
増減額 (B-A)	493	68	86	32
増減率 (%)	3.8	14.4	19.3	18.9

※一部事業においては収益性の改善状況を注視しており、今後の業績動向や将来の収益見通しを踏まえ、減損損失の計上が生じる可能性があります。

現時点では見通しを精査中であり、慎重に検討を進めております

※新たなM&Aによる影響は考慮しておりません

- 2026年6月期第3四半期業績
- 2026年6月期通期業績予想
- 成長戦略・トピックス
- Appendix



東海圏の建設ネットワークを拡大し、地域密着型の施工体制を強化

本件のポイント

- 1979年設立、岐阜県可児郡御嵩町を拠点とする建設会社
- 亜炭鉱跡地充填工事など、高度な対応力を要する専門工事に強み
- 2026年3月2日付で当社グループに加入（100%子会社化）

当社グループ戦略との関係

- 東海圏におけるグループ連携を強化
- 地域密着型の建設ネットワーク拡大を通じて、事業領域の拡張と収益基盤の強化を推進

今後の位置づけ・業績への影響

- 2026年6月期連結業績への影響は軽微、中長期的な基盤強化に寄与



北海道エリアへの進出により、人材関連サービス事業の事業基盤を拡大

本件のポイント

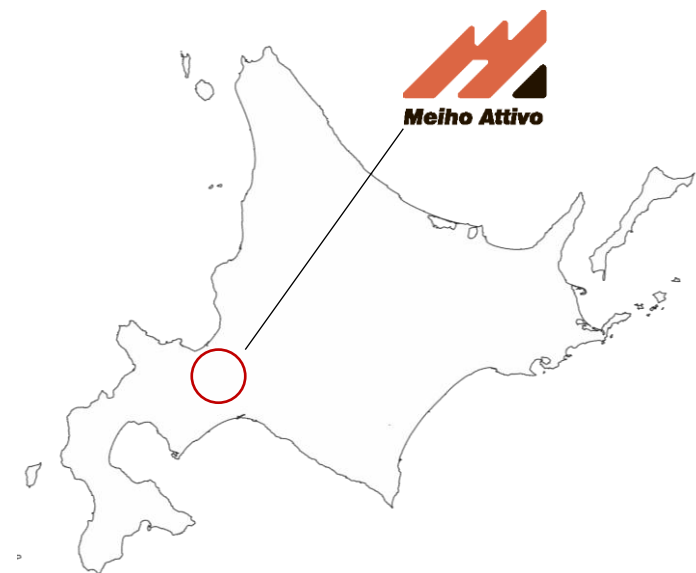
- トライブ株式会社北海道支店の人材派遣事業を譲受（2026年3月）
- 北海道エリアへの進出により、事業エリアおよび顧客基盤を拡大

当社グループ戦略との関係

- 人材関連サービス事業の強化の一環として実施
- 地域ごとの需要に対応できる事業体制を拡充

業績への影響

- 2026年6月期連結業績への影響は軽微であるものの、中長期的な基盤強化に寄与



- 2026年6月期第3四半期業績
- 2026年6月期通期業績予想
- 成長戦略・トピックス
- Appendix



事業セグメント別業績

建設事業の一時的な影響が全体業績に影響する一方、他事業は概ね安定推移

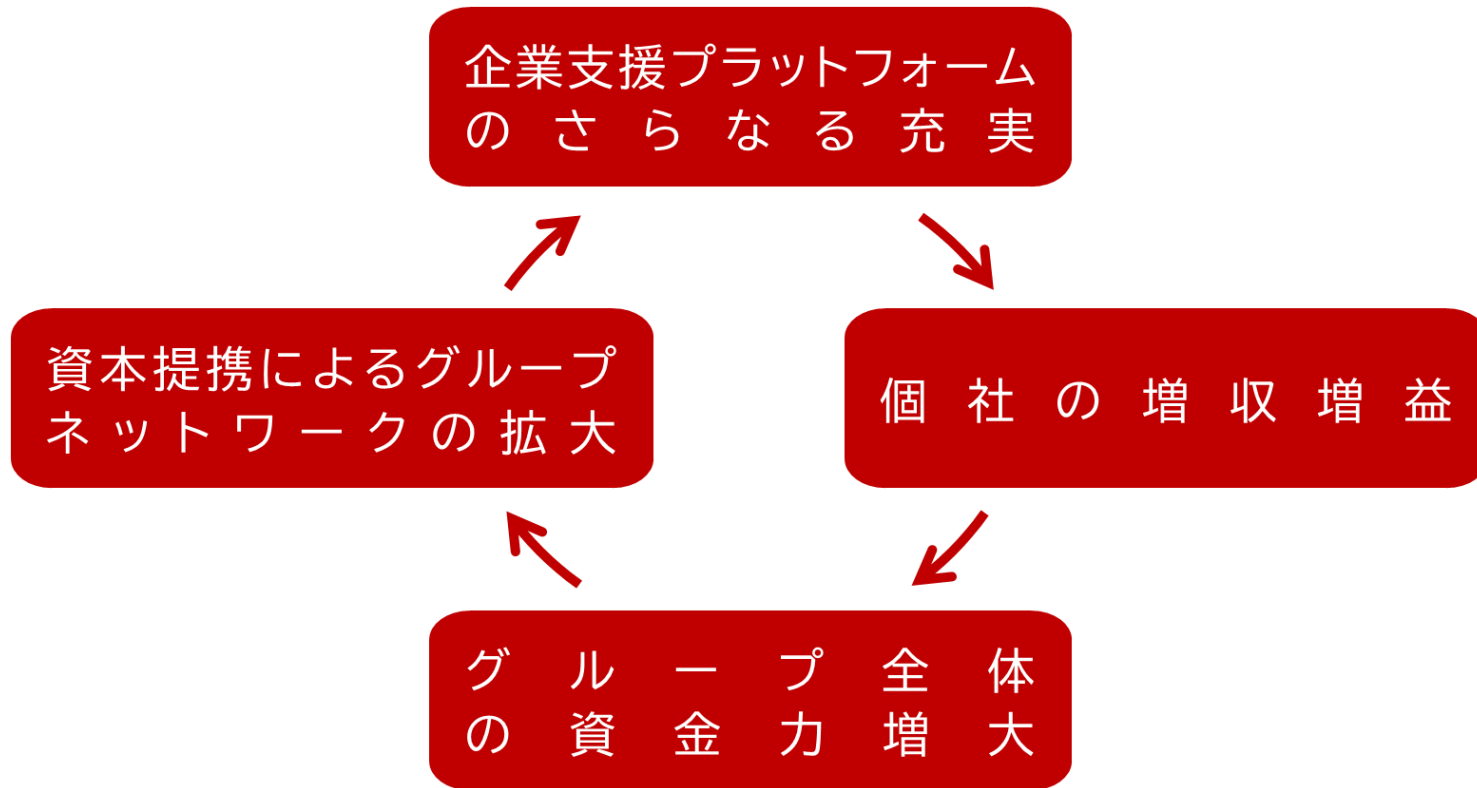
(百万円)

事業セグメント	売上高			営業利益			備考
	25/6期 3Q	26/6期 3Q	増減額	25/6期 3Q	26/6期 3Q	増減額	
建設関連サービス	3,328	3,358	30	583	633	50	
人材関連サービス	2,592	2,900	308	155	123	△32	<ul style="list-style-type: none"> ・事業譲受2件に伴う一時費用38百万円 ・北海道人材派遣（事業譲受） 売上高61百万円、営業利益4百万円 （一時費用25百万円を除く）
建設	3,583	2,981	△603	271	145	△126	<ul style="list-style-type: none"> ・天野建設 売上高26百万円、営業利益△2百万円 ・大阪・関西万博に伴う工事制限 ・前年同期の駆け込み需要の反動
介護	649	686	37	83	63	△19	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスの稼働率順調 ・住宅型有料老人ホームの減価償却増 ・社会保険の適用拡大による人件費増
全社調整 (差引)	△0	△1	—	△462	△506	—	
連結	10,151	9,923	△228	631	460	△171	<ul style="list-style-type: none"> ・天野建設取得に伴う一時費用32百万円

今後の取り組み

メイホーグループの成長サイクルを表すのが「弾み車」です

回転するほど、グループの資金力・ネットワークが拡大し、増収増益企業の共創に繋がる好循環を生み出す様子を表しています



※弾み車は、ジム・コリンズ著、「ビジョナリーカンパニー 弾み車の法則」で紹介されたフレームワーク

※当社グループの弾み車は事業の拡大に応じて適時見直しを行っており、上記は2025年7月改訂

◆ 中小企業の解決すべき課題

経営者の高齢化と事業承継問題	人材・資源の不足	デジタル化の遅れ	生産性の低さ
外部環境変化への対応力不足	資金調達の制約	地域経済と密着しすぎた構造	海外展開・輸出力の弱さ



◆ メイホーグループの成長戦略

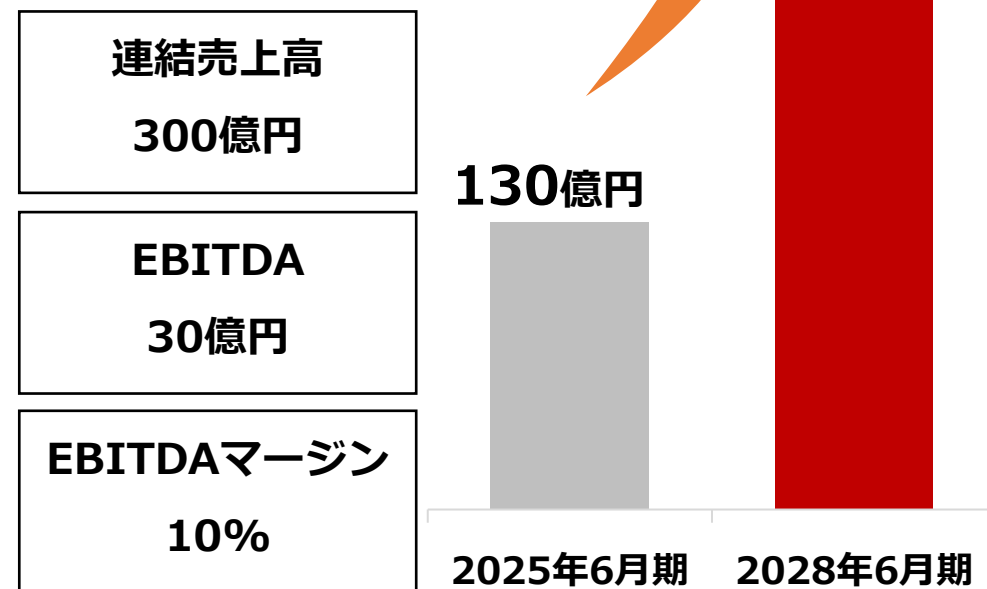
- 非連続な成長を実現する
従業員承継型M&Aの推進
- 各企業のオーガニック成長を後押しする
企業支援プラットフォームの提供

◆ メイホーサーティービリオンドライブ

中小企業と共に地域から日本を再起動する

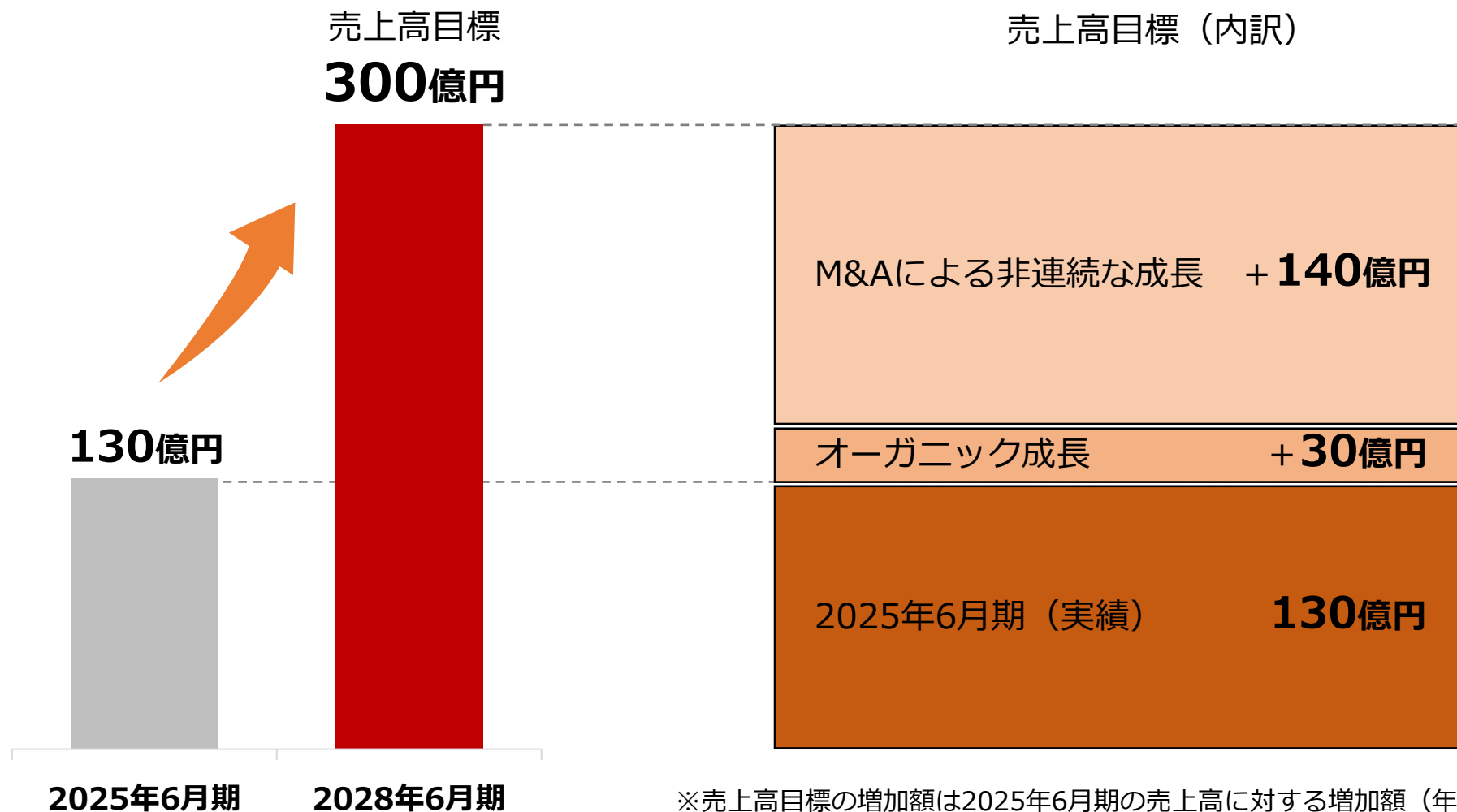
人・企業・地域の「つながり」を価値と捉え
経営支援型M&Aと経営哲学の共有を通じて
持続可能な地域創生モデルを築く

300億円



※中期経営計画の詳細につきましては、中期経営計画 2026-2028（メイホーサーティービリオンドライブ）をご参照ください。

2028年6月期 連結売上高300億円を目指す



メイホーグループについて

増収増益企業を共創するネットワークの拡大を通じて
一人ひとりがしあわせを実感できる社会を創造する



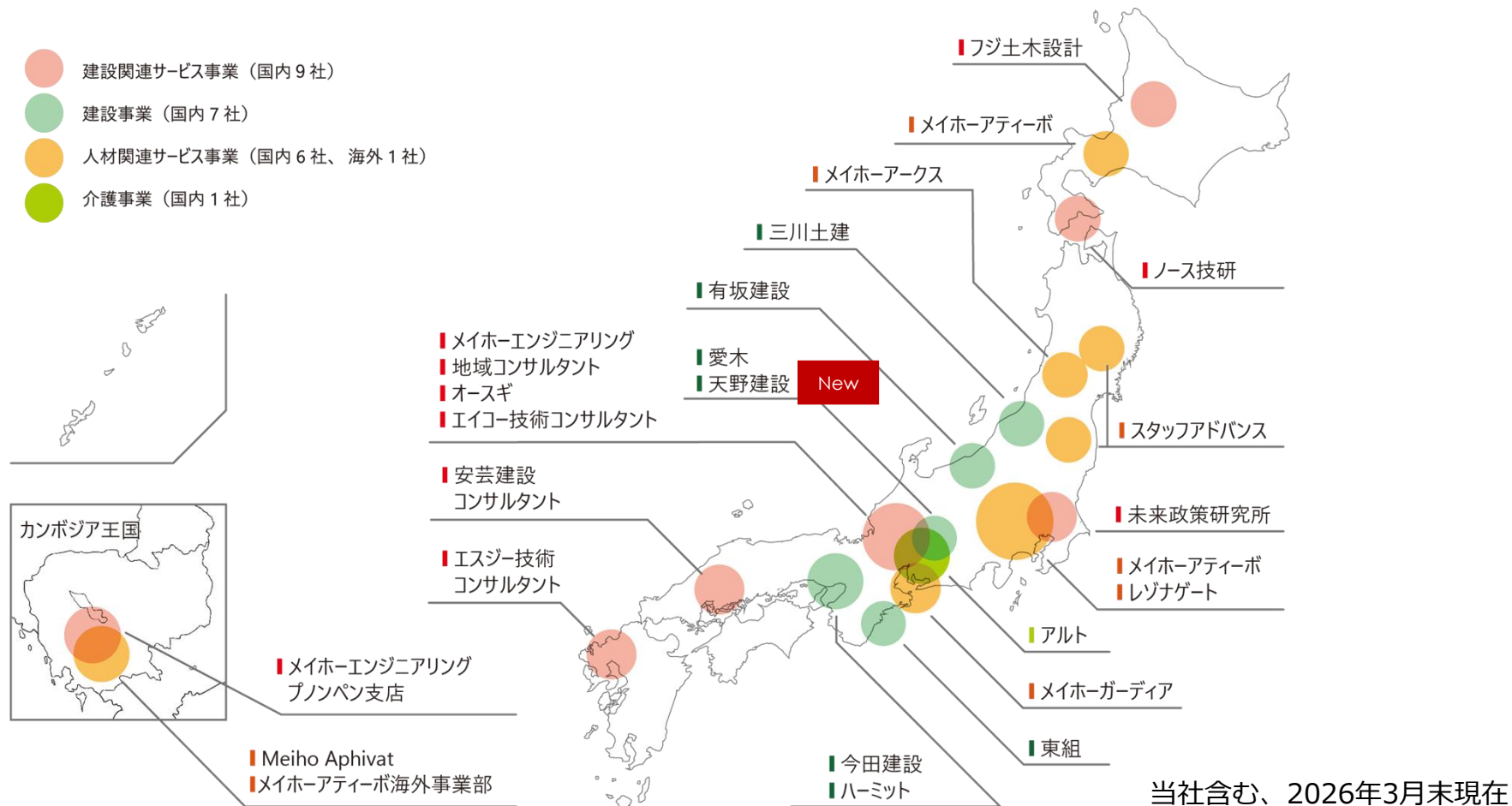
Mの三本柱は、名峰/明峰（明るい峰）を表す山や人の姿を表現しています。

ロゴには「人・企業・社会」、「中小企業・仲間・地域」の繋がりを大切にする思いが込められています。

会社名	株式会社メイホーホールディングス
本店所在地	岐阜県岐阜市吹上町6丁目21番
事業の内容	建設コンサルタント業、補償コンサルタント業、測量業、地質調査業、人材派遣事業、警備業、建設業、介護事業等を営む子会社等の経営管理及びこれに附帯する業務
代表者	代表取締役社長 尾松 豪紀（おまつ ひでとし）
設立	2017年2月1日（創業 1981年7月25日、株式会社メイホーエンジニアリングとして）
資本金	447百万円
決算期	6月末日
連結業績	売上高13,007百万円、経常利益444百万円（2025年6月期実績）
従業員数（連結）	1,244名（2025年6月末現在）
グループ会社数	25社（当社含む、2026年3月末現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（グロース市場）、名古屋証券取引所（ネクスト市場）
証券コード	7369
発行済み株式数	4,696,800株

グループネットワークの状況

- グループネットワークを構成する企業は25社
- 2026年3月より、天野建設がグループに加わりました

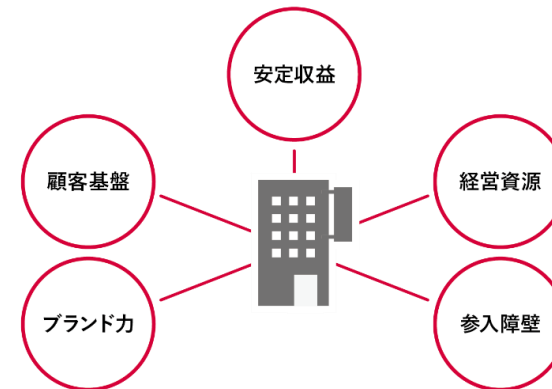


- 実績があり成長可能性のある企業をグループ加入候補企業としています

資本提携の基本方針

資本提携の基本方針		資本提携対象企業の5つの特長	
目的	企業支援プラットフォームのさらなる充実と地域企業の存続	ブランド力	特定の地域で実業を営んでいる
対象とする企業	将来不安を感じている中小企業 成長意欲の高い中小企業	参入障壁	許認可事業である
対象とする企業規模	中小企業～中堅企業	顧客基盤	公共関連事業の元請け企業である
保有方針	長期(売却を前提としない)	経営資源	従業員・技術的リソースを持つ
		安定収益	健全な経営を行っている

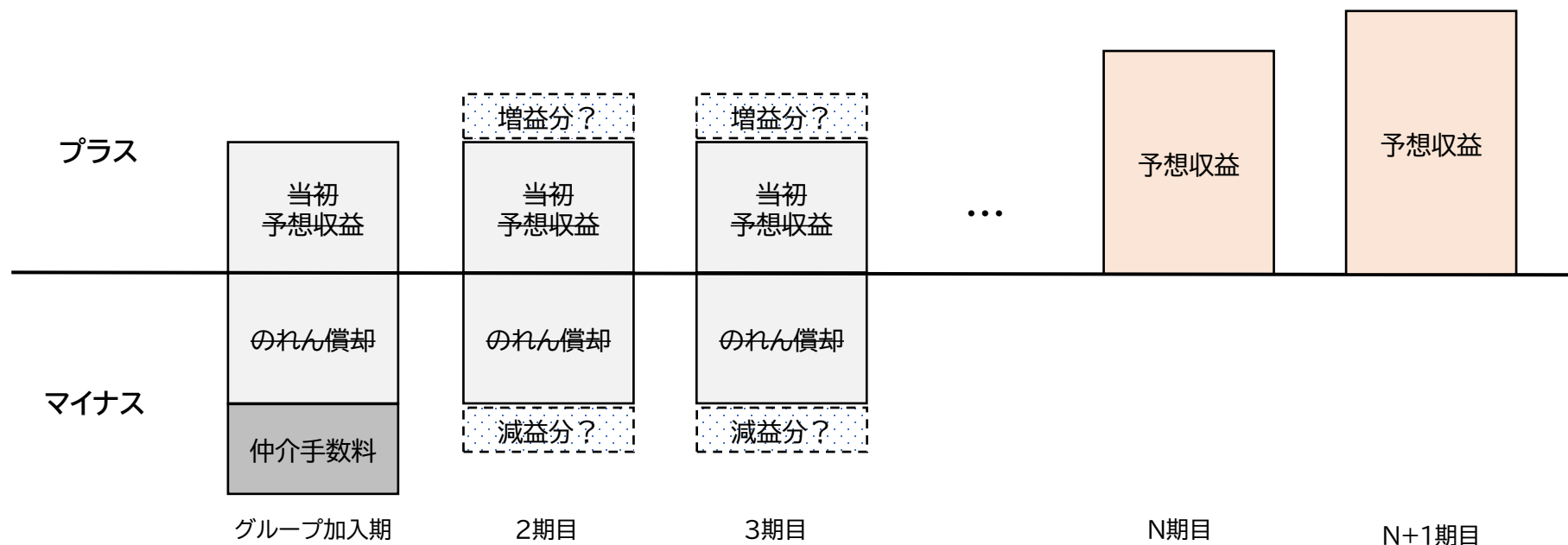
候補企業の選定方針



グループ加入時点で安定した収益が見込めるとともに、
グループ加入後は、経営支援により個社の成長を目指します

M&Aに伴う会計処理による一時的な影響

- ◆ 事業の収益力が低下しているわけではありません
- ◆ M&Aに伴うのれん償却により、短期的に利益が抑えられています
- ◆ 償却終了後は、収益成長が利益として明確に表れてきます



メイホーグループは、企業支援プラットフォームを提供する当社を中核とし、安定した業績を見込むことのできる、建設関連サービス、建設、人材関連サービス、介護を提供する地域企業群によりネットワークを構成しています



グループネットワーク拡大の歩み①

加入年月		会社名	所在地	事業内容
2006年6月	—	アスカコンサルタント	岐阜県高山市	建設コンサルタント等 メイホーエンジニアリングに合併
2007年9月	—	第一コンサルタント	岐阜県大垣市	建設コンサルタント等 メイホーエンジニアリングに合併
2008年9月	—	ユニバーサル	熊本県熊本市	建設コンサルタント等 メイホーエンジニアリングに合併
2015年4月	—	ソイルテクノス	大阪府豊中市	地盤改良 メイホーエクステックに合併
2015年6月	—	国土コンサルタント	岐阜県大垣市	建設コンサルタント等 メイホーエンジニアリングに合併
2015年12月		スタッフアドバンス	福島県二本松市	人材派遣（製造業）
2016年6月		オースギ	滋賀県彦根市	建設コンサルタント等
2016年6月		アルト	岐阜県岐阜市	通所介護、住宅型有料老人ホーム
2016年8月	—	新和工業	東京都中央区	人材派遣（プラント） メイホーアティーボに合併
2017年6月		愛木	愛知県日進市	法面工事、緑化

グループネットワーク拡大の歩み②

加入年月		会社名	所在地	事業内容
2017年6月		東組	三重県尾鷲市	建設業（国道維持管理等）
2017年6月		メイホーガーディア （旧 第一防災）	岐阜県岐阜市	警備業（施設、交通誘導）
2017年12月		エイコー技術コンサルタント	福井県敦賀市	建設コンサルタント等
2018年4月		地域コンサルタント	岐阜県恵那市	建設コンサルタント等
2018年9月		エスジー技術コンサルタント	佐賀県佐賀市	建設コンサルタント等
2021年10月		ノース技研	北海道函館市	建設コンサルタント等
2021年10月		有坂建設	新潟県上越市	建設業
2022年7月		安芸建設コンサルタント	広島県広島市	建設コンサルタント等
2023年1月		三川土建	新潟県東蒲原郡阿賀町	建設業
2023年7月		フジ土木設計	北海道旭川市	建設コンサルタント等

グループネットワーク拡大の歩み②

加入年月		会社名	所在地	事業内容
2023年11月		今田建設・ハーミット	大阪府大阪市	建設業（地下鉄関連施設工事等）
2024年2月		レゾナゲート	東京都千代田区	人材派遣（オフィス等）
2025年5月		メイホーアークス （旧 ナスキーキャリア）	宮城県仙台市	人材派遣（建設）
2025年10月		未来政策研究所	東京都品川区	専門調査・研究・地域活性化事業等
2026年3月		天野建設	岐阜県可児郡御嵩町	建設業

※事業譲受・事業譲渡を除く

※2025年10月より、第一防災はメイホーガーディアに、ナスキーキャリアはメイホーアークスに商号変更

※2026年3月末日現在

将来の見通しに関する注意事項

- ・本資料における業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- ・本資料に含まれる数値等は、当社グループの経営成績及び財政状態に関して、適切な理解を促進することを目的として開示しており、監査法人による監査またはレビューの対象ではないことにご留意ください。

IR活動に関するお問い合わせ先

株式会社メイホーホールディングス
経営企画部

お問い合わせフォーム

<https://www.meihogroup.com/contact/>



SNS広報アカウント (X,旧Twitter) : @meihogroup_X